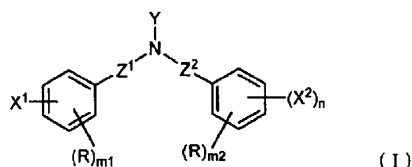


請求の範囲

[請求項1] 式 (I)

[化1]



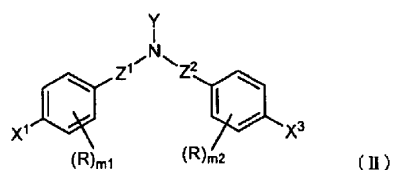
(式中、 X^1 、 X^2 は、それぞれ独立に、 $C_7 \sim C_{20}$ のアルキル基又は $C_7 \sim C_{20}$ のアルコキシ基を表し、 n は0又は1を表し、 Z^1 、 Z^2 は、それぞれ独立に、単結合又は $C_1 \sim C_3$ アルキレン基を表し、各 R は、それぞれ独立に、有機基又はハロゲノ基を表し、 m_1 、 m_2 は、それぞれ独立に、0～4いずれかの整数を表し、 Y は、重合可能な官能基を表す。)

で表される重合性化合物由来の繰り返し単位を有するポリマーを含有する接着性組成物。

[請求項2] 式 (I) 中、 Y がアクリロイル基又はメタクリロイル基である請求項1に記載の接着性組成物。

[請求項3] 式 (I) で表される重合性化合物が、式 (II)

[化2]



(式中、 X^1 は、 $C_7 \sim C_{20}$ のアルキル基又は $C_7 \sim C_{20}$ のアルコキシ基を表し、 X^3 は、 $C_7 \sim C_{20}$ のアルキル基、 $C_7 \sim C_{20}$ のアルコキシ基、水素原子又は有機基又はハロゲノ基を表し、 Z^1 、 Z^2 は、それぞれ独立に、単結合又は $C_1 \sim C_3$ アルキレン基を表し、各 R は、それぞれ独立して、有機基又はハロゲノ基を表し、 m_1 、 m_2 は、それぞれ独立に、0～4いずれかの整数を表し、 Y は、重合

可能な官能基を表す。)

で表される化合物である、請求項 1 又は 2 に記載の接着性組成物。

[請求項4] C 7 ～ C 2 0 のアルキル基及び C 7 ～ C 2 0 のアルコキシ基が分岐鎖である、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の接着性組成物。

[請求項5] 接着性組成物が、プラスチック基材用の接着性組成物である請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の接着性組成物。

[請求項6] プラスチック基材が、ポリオレフィン基材である請求項 5 に記載の接着性組成物。

[請求項7] プラスチック基材が、ポリプロピレン基材又はポリエチレン基材である請求項 5 に記載の接着性組成物。

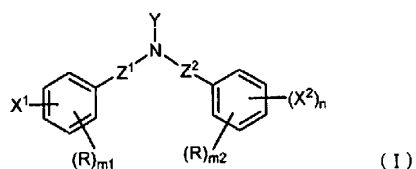
[請求項8] 接着性組成物がコーティング剤である請求項 5 に記載の接着性組成物。

[請求項9] コーティング剤が、プライマーである請求項 8 に記載の接着性組成物。

[請求項10] 接着性組成物が、接着剤である請求項 5 に記載の接着性組成物。

[請求項11] 式 (1)

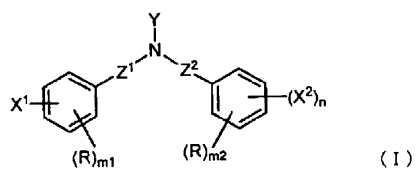
[化3]



(式中、X¹、X²は、それぞれ独立に、C 7 ～ C 2 0 のアルキル基又は C 7 ～ C 2 0 のアルコキシ基を表し、n は 0 又は 1 を表し、Z¹、Z²は、それぞれ独立に、単結合又は C 1 ～ C 3 アルキレン基を表し、各 R は、それぞれ独立して、有機基又はハロゲノ基を表し、m₁、m₂ は、それぞれ独立に、0 ～ 4 いずれかの整数を表し、Y は、重合可能な官能基を表す。) で表される化合物。

[請求項12] 式 (1)

[化4]



(式中、 X^1 、 X^2 は、それぞれ独立に、 $C_7 \sim C_{20}$ のアルキル基又は $C_7 \sim C_{20}$ のアルコキシ基を表し、 n は0又は1を表し、 Z^1 、 Z^2 は、それぞれ独立に、単結合又は $C_1 \sim C_3$ アルキレン基を表し、各 R は、それぞれ独立して、有機基又はハロゲノ基を表し、 m_1 、 m_2 は、それぞれ独立に、0～4いずれかの整数を表し、 Y は、重合可能な官能基を表す。)で表わされる重合性化合物由来の繰り返し単位を有するポリマー。